



無機素材を含む機能膜

日時 2022年8月19日(金) 13:00～18:00 (予定)
形態 仙台での対面開催+Microsoft Teams (LIVE配信)のハイブリッド形式
主催 産業技術総合研究所 東北センター Clayteam

Clayteamはクレイナノプレート等のナノマテリアルの社会実装を、産学官連携の支援体制で加速・実現する取り組みを実施しています。クレイナノプレートの高付加価値用途の一つはガスバリア材料用フィラーであり、クレイの添加でプラスチックのガスバリア性の向上が顕著です。ガスバリア性向上はシリケートに特異的な現象ではなく、分子レベルで緻密なナノプレートが積層する構造により発現します。そのため同様な機能はグラフェンにも期待されます。その他にも、難燃性向上、耐サージ性向上などのナノプレート等添加による付加価値向上が期待されています。第44回Clayteamセミナー/EBISワークショップはナノプレート等利用無機有機コンポジット材料の最近の応用事例を内外の方から紹介していただきます。

[プログラム] (敬称略)

13:00-13:10 開会挨拶 蛭名武雄 (Clayteam 会長)

【座長】 井出裕介 (物質・材料研究機構)

13:10-14:00 「Interactions Between Water-Soluble Polymers and Nanoparticles
: Structural Design and Applications」
◆Aranee Teepakakorn, Dr., IRPC Public Company Limited

14:00-14:50 「グラフェン系材料のバリア膜・保護膜特性と応用」
◆山田貴壽 産業技術総合研究所ナノカーボンデバイス研究センター
二次元ナノデバイス材料研究チーム 研究チーム長

14:50-15:40 「粘土ナノシートとりんご、粘土ナノシートと増感剤」
◆江口美陽 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクニクス研究拠点
メソスケール物質化学グループ 主任研究員

15:40-16:00 休憩

16:00-16:50 「有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の開発」
◆蔵岡孝治 神戸大学大学院海事科学研究科 海事科学専攻 教授

16:50-17:40 「水分散系粘土鉱物の放射光粉末X線回折分析～層間へのカフェイン取り込み
挙動を秒単位で追跡～」
◆岡田友彦 信州大学 学術研究院(工学系) 准教授

17:40-17:50 総括 井出裕介 (物質・材料研究機構)

17:50-18:00 閉会挨拶 山下 俊 (東京工科大学)



Clayteam事務局

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4丁目2-1

産業技術総合研究所 東北センター内

Phone 022-237-8142 E-mail: clayteam-aist-ml@aist.go.jp